

会 員 各 位

平成 30 年 7 月 11 日

構 造 懇 話 会
会 長 森 川 英 典

第 499 回 構造懇話会 平成 30 年度 例会のご案内

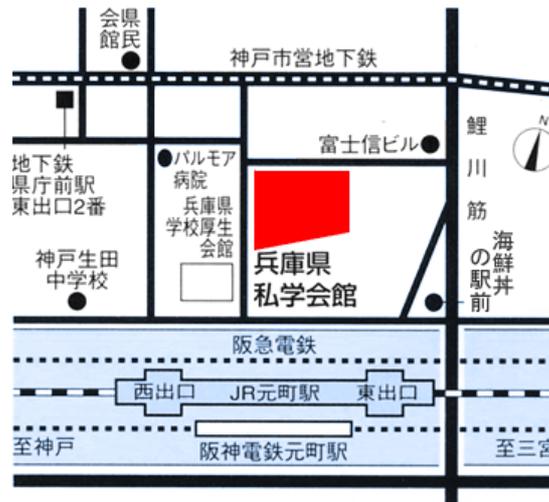
構造懇話会の運営に際しまして、日頃よりご支援賜り、誠に有難うございます。
標記の平成 30 年度例会を下記のとおり開催いたします。
つきましては、多数ご出席下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成 30 年 8 月 9 日 (木) 13:15～16:55
2. 場 所 **兵庫県私学会館 101 号室**
神戸市中央区北長狭通 4 丁目 3-13 TEL 078-331-6623
3. 議 題
 - 1) 例会 ①部 13:15～14:10
『兵庫県及び市町における橋梁の老朽化対策の実態と今後の方針について』
兵庫県道路街路課 国道・橋梁班 矢内稔也氏、松島翔子氏
休憩 14:10～14:20
 - 2) フリートーク 14:20～15:10
『50 周年記念大見学会・記念誌出版について』
休憩 15:10～15:20
 - 3) 例会 ②部 15:20～16:15
『海外における斜ケーブルシステムの適用事例』
住友電工スチールワイヤー株式会社 勝田 浩一 氏
休憩 16:15～16:25
 - 4) 例会の開催回数について 16:25～16:55

[連絡先] 〒530-0005 大阪市北区中之島 3-2-18 住友中之島ビル 13 階
株式会社 オリエンタルコンサルタンツ 西川 啓二
TEL : 06-6479-2136 / FAX : 06-6479-0506 / e-mail : nishikawa@oriconsul.com

[案内図]



構造懇話会 URL <http://www.kozokonwakai.org/>

第 499 回 構造懇話会 例会での報告概要

1. 『兵庫県及び市町における橋梁の老朽化対策の実態と今後の方針について』

①報告者

兵庫県道路街路課国道・橋梁班 矢内稔也氏、松島翔子氏

②報告内容

平成 24 年 12 月に発生した中央自動車道笹子トンネルの天井板崩落事故を契機に、道路構造物の老朽化対策に対する議論が活発化した。平成 26 年 7 月には、橋梁やトンネルの近接目視による定期点検を 5 年に 1 回実施することを義務づけることを定めた道路法施行規則が施行された。

兵庫県内には道路橋が約 3 万橋存在し、その多くは、高度経済成長期以降に建設されており、老朽化対策を着実に実施していくことが求められている。今年度で法定点検が一巡するが、急速に本格化した市町の老朽化対策における様々な課題と、今後の方向性を報告する。

2. 『海外における斜ケーブルシステムの適用事例』

①報告者

住友電工スチールワイヤー株式会社 勝田 浩一 氏

②報告内容

海外では長大斜張橋や大規模なエクストラードード橋において、PC 鋼より線を用いた斜ケーブルシステムが活用されてきています。その斜ケーブルシステムには、主に垂鉛めつき PC 鋼より線やエポキシ樹脂被覆 PC 鋼より線などの防食 PC 鋼材が使用されています。今回は PC 鋼より線を用いた斜ケーブルシステムの適用事例や火災やテロ対策など最新の海外技術動向についてもご紹介します。